

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	島根県	事業実施主体	島根県、飯南町	地域再生計画名	中国山地の豊かな自然で交流・交通整備計画
計画期間	平成29年度～令和3年度	評価責任者	島根県雲南県土整備事務所：農林工務部長 石飛義明、飯南町役場：建設課 森山 篤		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価
			基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数		
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	年間観光入込客数の増加	305千人	H27	310千人	R1	324千人	314千人	R3	279千人	△	<ul style="list-style-type: none"> ・R1年の中間目標は達成しているが、その後世界的に感染が拡大した新型コロナウイルスへの感染対策（移動制限等）により、観光客の入込数は減少した。影響が甚大であったことから、目標の達成ができなかったことはやむを得ないと考えている。 ・今後は感染拡大の収束を見越して、飯南町の自然を活かし、コロナ禍においても安全に楽しむことのできるアクティビティ、体験活動などを充実させ、入込数を増加する取り組みを引き続き行っていく。
	指標2	道の駅・産直市・JAと連携した産直事業の売上増加	148百万円/年	H27	156百万円/年	R1	135百万円/年	162百万円/年	R3	118百万円/年	×	<ul style="list-style-type: none"> ・R1年の中間目標、R3年の最終目標、ともに未達成となった。原因としては農業者の高齢化による出荷農家の自然減が進んでいることやコロナ禍による交通の往来の減少による売上の低下があげられる。 ・今後は、品質の高い品物を生産するようPRしていき、高単価での販売を目指して取り組んでいく。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1											
	指標2											
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度(R1)	最終実績							
特別措置を適用して行う事業	町道松本酒谷線整備事業（L=680m）		680m	282m	680m	令和2年度までに改良工事（幅員の確保と線形改良、交差点部の改良工事）、令和3年度に計画区間の舗装工を実施し事業を完了した。						
	県営広域農道飯南飯石線保全対策（L=9,657m）		9,657m	7,202m	9,657m	計画整備量は路線の起点から終点までの区間延長としている。舗装修繕整備の対象は5工区3,418mのうち3,012mを実施した。残りの延長（406m）は現地精査の結果、健全と判断し不施工とした。法面の対策の2箇所は計画とおり実施した。						
その他の事業												
計画外で独自に実施した事業	社会資本整備総合交付金		安全安心な道路ネットワークの構築			予定された2路線の整備が順調に完了し、地域住民だけでなく観光利用者にとっても安全・安心な道路ネットワークの確保が図られている。						
	本地域の各所で行われる観光イベント		観光イベントや文化行事を組み合わせた周遊プランによる観光振興			「日本一大しめ縄の里島根県飯南町」をキャッチフレーズに、町の地域資源を活用した飯南町森林セラピー（通年）・銀山街道ウォーク（10月）、花のイベントである、ぼたん祭り（5月）・ポピー祭り（6月）・コスモス祭り（10月）など年間を通じて飯南町への誘客を図るとともに、道の駅でのレンタルサイクル事業、飯南町観光協会による自転車を活用したイベントなどにより周遊観光に取り組んでいるが、近年は新型コロナウイルス感染の影響によりイベントの中止が多くなっている。						
	農業振興支援		担い手育成総合支援事業、園芸用ハウス整備事業、農業研修制度・半農半X事業、リースハウス団地整備事業			平成26年度から新規就農者の確保に積極的に努めている。新規就農者確保のための担い手育成支援事業（農業機械購入・施設整備補助）、園芸用ハウス整備事業（町単・町内農業者）、農業研修制度、リースハウス団地整備事業については、概ね予定どおり整備が行われている。 【新規就農者】平成26年度第1期生から令和3年度までに15人が新規就農者として活躍。 【リースハウス整備事業】平成27年度から整備スタート。令和3年度までに51棟（1.42ha）を整備引き続き、新規就農者の増を基軸とした各種農業振興支援を実施することとしている。						
	定住促進施策		UIターン町外通勤助成金、空家改修・片付け助成金、空家バンク事業			平成28年度より町外に通勤する方に助成金を交付している。毎年度4名程度。空き家改修助成、空き家片付け助成は、毎年度各5件程度交付している。空き家バンクには155戸の登録があるが、うち89戸は入居済みで165人程度が居住している。						
④評価方法	島根県飯南地域再生計画評価委員会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。											
⑤事後評価の公表方法	島根県、飯南町のホームページに掲載し、公表する。											
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、地方創生道整備推進交付金により、町道改修と広域農道の保全対策を一体的に実施することにより、観光施設・宿泊施設等を有機的に繋げ観光交流人口を拡大させ、農林産物輸送の効率向上を図り、また、地域が行う独自の取組（観光イベント、農業振興、定住促進）を合わせ行うことで地域の活性化を目指すこととした。指標1の「年間観光入込客数の増加」については、中間評価時点で目標を達成しているが、新型コロナウイルスの影響を受け最終目標値は未達成となった。しかし、甚大な影響に対し本計画による取り組みが減少の抑制に一定の寄与をしたと考えている。今後は飯南町の豊かな自然を活かし、コロナ禍においても安全に楽しむことのできる観光体験を充実させ、入込数を増加させていく。また、指標2の「道の駅・産直市・JAと連携した産直事業の売上増加」についても、最終目標値未達成となった。今後は高付加価値の作物へ取り組みを促していくとともに、他事業連携による道の駅・産直市の来訪者増により目標達成を目指していきたい。											
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、円滑に整備が進んでおり、目標の達成に向けて一定の寄与をしたと考えている。引き続き、政策を推進するために他事業や町独自事業と連携して取り組みを継続する予定である。											